

公益信託世田谷まちづくりファンド

第30回助成事業 審査講評

はじめの一步部門

< 1-1 NPO法人親子サポート・一本の樹 >

- ・地域の子どもたちの絵が、街と人を明るくするという試み。とても魅力的だと思いますが、地域に絵を貼りに行く際は大人だけでやってしまわずに、是非とも子どもといっしょに行いプロセスを大事にしてください。描いた子どもの顔が見えることで地域の方との交流が生まれ、お店の方なら絵をきっかけにお客さんと対話する可能性もあり、NPO法人の活動を広めてくださることにもつながります。子どもにとっても地域の方にとっても貴重なツールとなることを期待します。

< 1-2 お笑い3ちゃんねる >

- ・プロのお笑い芸人の方が、漫才・漫談といった笑いの力で、参加者に明るい気持ちや楽しい気持ちを持っていただき、地域のコミュニケーションの円滑化・よりよりまちづくりに貢献したいという、前向きな気持ちを大切にしたいと思いました。
- ・「はじめの一步部門」の活動が終了した後、幾つの団体を回ったか、どれだけ喜んでもらえたか、ということだけでなく、今後まちづくりの継続的な活動として展開するために、何をを目指すのか、どう継続していくのか、など、具体的な活動イメージをメンバーの皆さんで描いていただけると嬉しいです。

< 1-3 世田谷はなみずきの会 >

- ・区が令和4年度よりひきこもり相談窓口を開設したタイミングで、孤立しがちな「ひきこもり」問題を抱えた家族が、思いを語り共有することで、支え合う場を提供するという取り組みを行うことはとても良いシナジーを生むと思いました。ひきこもり施策への提言を行うためにもしっかりとアンケートを取り、データとして取り組みの意義を伝える活動にもチャレンジすることを期待します。

< 1-4 太子堂ワークショップ準備室 >

- ・コロナで失われた貴重な機会を復活させようと、学校・PTA・地域が一丸となって進めようとされているとのこと。先駆的に行って来られたということから、多くのノウハウと地域の人材が見えていることと思います。学校支援コーディネーター制度が始まった一方で、PTA活動が変容を見せている今だからこそ、ワークショップ協力をきっかけに、地域の特色を生かした新たなつながりが生まれることに期待しています。

< 1-5 おやこフシギ発見クラブ >

- ・コロナ禍で密になりすぎた親子関係について、これを好機ととらえ「見つめ直す」という視点はとても興味深いです。家族が住んでいる「まち」をテーマにすることにより、ワークショップ後も親子での会話が楽しくなりそうです。
- ・演劇作品づくりの過程や発表は、地域の方々や団体とともにすると良いかもしれません。ぜひ、チャレンジしてみてください。

< 1-6 しぜんのまち >

- ・学校を全ての子どもにとって安心できる居場所、より良い育ちの場とするために自ら学び考える。そこから子どもたちを中心に据えたまちづくりを考えたいという計画に期待致します。是非多様な子どもたち皆が安心できる居場所・学校からのまちづくりの実現を目指してください。

< 1-7 Hisae Style -walk&color- >

- ・孤立している一人暮らしのシニア、という社会課題に着目されて、まち歩きイベントという、歩きながらコミュニケーションができ、気軽に参加しやすいイベントからアプローチしようとされているところがとても良いと思いました。一方で、助成金でする今回の取り組みとご自身の本業との切り分けについて懸念がないわけではありません。
- すでにアクティブなシニア層とは繋がりががあると思いますが、孤立しているシニアへのアプローチやつながりづくりは思うようにいかないこともあるかもしれません。そういった点も含め、今回のウォーキングイベントを通じて気づきを得て、今後の継続的活動に活かせることを期待しています。